CONFIDENTIAL

ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業
公募QA集

2025年7月

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

AI・ロボット部

Q1　予算規模に記載されている金額は、開発費総額/委託費及び助成費のどちらか

A1　NEDOがお支払いする委託費および助成費の合計額です

Q2　共同提案の場合、かつ1者が複数の事業項目を提案する場合添付資料や事業化計画は事業項目毎に提出が必要か

A2　事業項目毎の提出は不要です
提案者単位に提出いただき、実施する事業項目毎の事業化計画を1つの事業化計画に記載してください

Q3　事業の開始時期は、採択日／契約締結日のどちらと考えればよいか

A3　事業の開始時期は、採択日（採択通知日）とお考えください
なお、NEDOが受理した実施計画書の提出日から、最大で2か月前の日（実施計画書の提出日が採択通知日から2か月以内の場合は採択通知日）まで、委託期 間開始日を遡ることが可能です
委託業務事務処理マニュアルご覧ください
https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html

Q4　委託のみと事業者と委託から助成へ切り替わる事業者が共同提案を行う場合は、別添1-2：提案書（委託・助成）の書式を使用すればよいのか

A4　ご認識のとおり、別添1-2：提案書（委託・助成）の書式を使用して提案書を作成してください

CONFIDENTIAL

Q5　共同提案の場合、提案書のアップロードはどのように行えばよいのか

A5　提案書は、代表提案者がまとめてアップロードしてください
ファイルは一つのzipファイルにまとめた上で、アップロードをお願いします

Q6　提案書一式や会社案内一式はファイル名の指定があるが、文字の制限等はあるのか

A6　文字数に制限はありません。公募要領に従ってファイル名を付与してください

Q7　共同提案を考えているが、共同提案者には事業化計画を非公開として応募したい。どのようにすればよいか

A7　事業化計画を非公開としたい場合は、提出先（webフォーム）から個別に提出をお願いします
他に非公開としたい情報がある場合は、それらをまとめて個別に提出してください

Q8　共同提案の場合、別添ファイルはどのように提出すればよいか

A8　番号や提案者で一つのファイルをまとめる必要はありません
ファイル名に提案者名を追記する等、どの提案者のファイルか分かるようにしてください

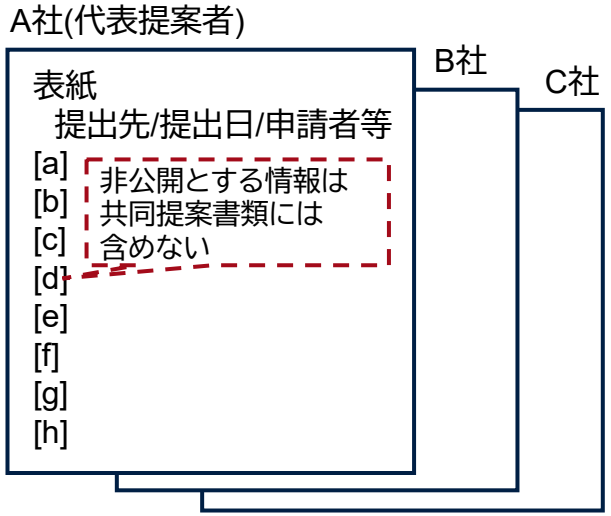
Q9　提案書に共通で記載する部分と提案者個別に記載する分があるが記入方法を詳細に教えてほしい

A9　共同提案者間で共有する情報と、提案者毎に作成する内容を合わせて提案書を作成し、提出してください
共同提案者に非公開としたい情報は個別に提出してください

【提案書の構成(委託・助成) 】
[a]【共通部分】
[b]【個別部分】
[c] (添付資料1)実施計画書
[d] (添付資料2)事業化計画書
[e] (添付資料3)事業成果の広報活動について
[f] (添付資料4)非公開とする提案内容
[g] (添付資料5-1)再委託先・共同実施先の選定理由及びその内容
[h] (添付資料5-2)委託理由及びその内容

<u>個社提案の場合</u>
提案書の様式に従って記載
[a]【共通部分】
[b]【個別部分】
[c] (添付資料1)実施計画書
[d] (添付資料2)事業化計画書
[e] (添付資料3)事業成果の広報活動について
[f] (添付資料4)非公開とする提案内容
[g] (添付資料5-1)再委託先・共同実施先の選定理由及びその内容
[h] (添付資料5-2)委託理由及びその内容

<u>共同提案の場合</u>
[a]、[c]の1.～3.、[e]、[f]を共同提案者間で共有し、その他は提案者単位で作成



CONFIDENTIAL

Q10 委託事業期間に取得した資産を有償で譲り受ける時期は本事業の終了時期ではなく、委託事業が終了する時期と考えてよいか

A10 ご認識のとおり、委託事業で取得した資産は委託事業終了時に残存簿価で譲り受けていただきます

Q11 有償で譲り受けた資産は委託先に帰属すると考えてよいか

A11 ご認識のとおり、有償で譲渡した資産の所有権は譲渡先に帰属します

Q12　委託事業期間中に取得し、事業終了時に有償で譲り受けた資産は、処分制限の対象外と考えてよいか

A12　ご認識のとおり、処分制限資産は助成事業期間中に助成先がNEDOの補助金により取得した資産です
但し、委託事業に続き助成事業として継続する本事業では、譲り受けた資産を引き続き本事業で使用できるよう配慮をお願いします

Q13　複数テーマの提案を考えている。その場合、提案1件あたりの上限額はどのように考えればよいか

A13　予算規模にある提案1件あたりの上限額は、1テーマの上限額です。提案者Aがテーマaとテーマbを提案する場合、それぞれのテーマに予算規模の上限額が適用されるとお考えください

Q14 提案書（委託・助成）の書式には、委託期間の体制図と助成期間の体制図が用意されているが、どのように使い分ければよいのか

A14 すべての事業期間が委託の提案者は体制図（委託期間用）を用いてください。委託から助成へ切り替わる事業者は、1年目の体制は体制図（委託期間用）、2年目以降の体制は体制図（助成期間用）を用いてください。（委託のみの提案者と委託から助成へ切り替わる提案者が共同提案を行う場合も同様です）

Q15 共同提案において、事業化実用化責任者はすべての提案者が提出する必要があるか

A15 ご認識のとおりです
本事業の成果の事業化を担うすべての提案者から、ご提出をお願いいたします

Q16 共同提案において、テストベッドの構築および運用の提案者も事業化計画の提出は必要か

A16 テストベッドの構築および運用のみの提案者は事業化計画の提出は必須ではありません

Q17 提案書フォーマットにおいて、提案事業の費用として助成金交付申請額は全期間の申請額と初回ステージゲートまでの申請額の両方を求めているが、委託についての記載はない委託についても同様に全期間と初回ステージゲートまでの費用の提出は必要か

A17 提案書の3.提案事業の費用では、初回ステージゲートまでの費用を記載いただく必要はありません
委託、助成とも、(添付資料1)実施計画書 4.事業に要する費用の内訳等において、事業開始からステージゲートまでの(*1)費用、およびステージゲート後から事業終了まで(*2)の費用を記載してください

*1 2025年10月～2028年9月

*2 2028年10月～2030年9月

Q18 事業開始からステージゲートまでの費用と、ステージゲートから事業終了までの費用は年度で分かれると考えてよいか

A18 ステージゲートは、各開発テーマの研究開発開始から終了までの中間地点で実施する予定です
但し、本事業では2025年10月に事業を開始する場合は2025年10月～2028年9月をステージゲートまで、2028年10月～2030年9月をステージゲートから事業終了までとして費用を計上してください

Q19 委託から助成に切り替わる年度は、どのように費用計上すればよいか

A19 委託期間は様式1-1：積算用総括表（委託）、助成期間は様式1-2：積算用総括表（助成）を用いて計上してください

事業開始が2025年10月の場合、2026年9月までを委託、2026年10月～2030年9月までを助成として計上してください

Q20 GXに係る取組申告書にある第三者検証は必須か、
第三者の属性に条件はあるか、目標設定は2030年のみで
問題ないか

A20 GXに係る取組申告書に記載の【実施にあたっての条件】に
従って書類を作成し、提出をお願いします
作成にあたっては、経済産業省　イノベーション・環境局
GXグループ　環境政策課へご相談をお願いします

https://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/global_warming/index.html

https://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/global_warming/gx_budget.html

Q21 別添2-1は研究開発統括責任者等となっている
提出後に責任者の選出を行うことになるのか

A21 提案時は責任者が確定していない場合を想定し、責任者等としています。採択後も変更なければそのまま、変更した場合は責任者を変更した上で契約を締結いたします

Q22 事業化責任者はどのような役割を担うのか

A22 提出いただく事業化計画の責任者という位置づけです
事業期間中に開催する委員会等で計画や進捗状況をご説明いただいたり、必要に応じて計画の見直しを行う際の責任者とお考えください

NEDO公式SNS

ニュースリリースや公募、イベント情報等、様々な最新情報を発信しています。
ぜひフォロー・ご登録をお願いします！

NEDO
（@nedo_info）

NEDO【英語版】
（@nedo_info_en）

NEDO

スタートアップクラブ

NEDO Channel

NEDO PR Channel